

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0950
施設名	わらべ里山保育園
施設所在地	八王子市堀之内1200
法人名	社会福祉法人 清心福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

水

<テーマの設定理由>

園庭には稼働遊具を置き、イメージを膨らませたり、アイデアを出したりして遊ぶ日々がある。その中で雨水や水たまり、水を利用した遊びが展開されている。土・泥、花、葉っぱ、木の枝等の自然物や絵の具、ボール、バケツ、シャベル等の道具により、遊びが活発になり、幅も広がっていくものなので友達や、保育者と共に遊びが更に充実し、楽しめる探究をする。

2. 活動スケジュール

6月より年間を通して行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・砂、泥、花、草、木の枝、木の実、石等の自然物や絵の具、氷、石鹸、ボール、バケツ、シャベル、スコップ、おままごとなどの道具を何気なく配置した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・花びらや花や葉を使用してケーキやお弁当や食事を表現して、水を使用してスープ、みそ汁、ジュース等をおままごとに沢山利用した。

・園庭や砂場を掘り、水を入れて池や川や海やお風呂や足湯や温泉をつくった。

・遊具を使用して水を運んだり、汲んだり、まいたりした。

・水を含む前と後の砂、泥、土等の感触違いを感じた。

・色水や氷作りや泡作りをした。

・水風船、ボール流しをした。

水を使用することにより、変化が起きていくことが多く、その変化を友達や保育者と楽しんだり、新しい発見を見つけたりしながら、遊びを深め、広げていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・「おいしいスープができたから飲んで」と友達や保育者にごちそうしていた。

・「つめたい」「ぐちゃぐちゃ」「よごれた」「よごされた」「きもちわるい」「たのしい」「きれい」「きたない」など、それぞれの活動でいろいろな感じた言葉が出ていた。

・異年齢同士が交わって大きな児がアイデアをだして遊ぶ姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

水を使用することにより、遊びが盛り上がり幅が広がっていった。子ども同士、保育者とこどもの共同作業、相談して次はこうしてみようなどアイデアを出し合っているなどの様子もたくさん見られた。また、発見、驚きがあるとみんなに知らせる場面も多く、気付いたことを表現する活動が増えていった。広い園庭の真ん中に水を汲みやすい手洗い場ができたことにより、より一層の遊びの幅も広がり、広い園庭の至る場所で遊びが展開されていった。